

奥殿陣屋(旧奥殿藩陣屋跡) (岡崎市奥殿町字雑谷下 10)

奥殿陣屋は、その昔、持統天皇が命名されたと伝えられる花ぞの山(村積山)の麓にあります。徳川氏の発祥地である松平郷に近く、1万6千石の親藩として奥殿藩の歴史と文化を今に残しています。

春のユキヤナギ・スイセン・バラ・花菖蒲・あじさい・ユリ・はぎ・もみじ・つばきなど、四季折々に美しい花園の里です。

場内には、書院、金鳳亭、蓬萊の庭、資料展示室、花火資料室、玄々斎宗室生誕碑、歴代藩主の廟所があります。

開館時間＝9時30分から16時30分 休館日＝月曜日

京都風の日本庭園

書院の本庭である蓬萊の庭は、古図にある池庭をモデルに、江戸初期の作風を生かした日本庭園として復元しました。また、築山全体を当地方産の杉苔でおおったところ、京都にも例を見ないと云われる程の美しさを醸し出しています。

庭園中央付近にある北山杉はきれいに剪定がされています。

春のツツジ、夏の新緑、秋の紅葉、雪景色の日本庭園 と四季を通じてお楽しみいただけます。

中でも、紅葉は奥殿陣屋の名物となっています。

池も2段式となっており、上段の池には石橋がかかっており風景に溶け込んでいます。

開館時間＝11:00～14:30 休館日＝月曜日

岡崎東インターより15分

安城市広報による

